

# 復興支援フォーラムニュース No. 113

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 ([tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com))

<第111回 ふくしま復興支援フォーラム> (2017.05.18)

## 原発避難者向け復興公営住宅入居者調査結果

西田奈保子(福島大学)

### 1. 問題の所在

#### (1)なぜ調査を実施したか

- 災害後の住宅供給の課題:過去の災害から
- 入居者の社会的孤立
- 震災と原発事故
- 入居世帯への質問票調査の概要

#### (2)福島県における原発避難者向け復興公営住宅の供給

- 町外コミュニティと供給計画
- 入居者募集の特徴
- コミュニティ形成への支援体制

### 2. 調査結果の紹介

#### (1)回答者の社会的属性

- どのような方々が暮らしているか

#### (2)復興公営住宅での生活

- なぜ入居したか
- 生活環境をどのようにみているか
- 避難生活をどのようにみているか

#### (3)近隣関係とその変化

- 団地内ではどのようなつきあいか
- 団地外とはつきあいがあるか
- サポートネットワークの状態はどうか

### 3. 課題

- いまの課題
- 災害後の制度として

~~~~~

### 第110回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

2017年4月25日、福島市・A0Zで、第110回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

福島県楡葉町の松本幸英町長から、「楡葉町の現状と復興に向けた取り組みについて」と、題して報告をしていただきました。復興に向かう楡葉町への関心が高く。市民46名が参加し、熱心な質疑討議がなされましたが、会場で文章で提出いただいたご意見・ご感想は、以下の通りでした。参考にしてください。

~~~~~

★ とても丁寧なご説明で、町民と町についての考え方がしっかり伝わってきました。楡葉に戻った方、戻りたいと思っている方、今はまだ戻れないと思っている方々に対して、楡葉町の方々と一緒になんらか取り組んでいければと思います。(H.S)

★ 震災から帰還まで、長い年月をかけ、町に住めるようになった事は喜ばしく思います。町の歴史は、風景や生活で表現される事はありますが、何よりも帰還まで、町や町民をささえてきた人達の努力も大切な歴史なんだと感じました。それを形に残し伝えなければならぬと気付かされました。(Y.M)

★ 町の復興・再生には、担い手となる若年層の帰還が必要になる。そのためには、教育・仕事(雇用の場)が必須となる。松本町長さんには、重要課題として「教育と農業」をあげられている。農業については、平成31年に福島大学に創設される(仮称)食農学類が支援できればと思う。(R.N)

★ 町と、町民の皆さん自身が、町の未来のために知恵を絞り、汗をかいている姿がお話から垣間見えました。様々な外からの声もあるとは思いますが、私達は福島県民として、その姿をもっと見、知り、そして支え護っていきたいと考えます。(D.Y)

★ 貴重なお話し、ありがとうございました。相双が、他の町にも希望を与えるお話だったと思います。(A.T)

★ 楡葉町の再生に向けてのご努力の姿に感激いたしました。今後ともなお一層の帰還が進み、楡葉町の進展が図られますことをご期待申し上げます。(K.F)

★ 帰還の最前線である楡葉町における復興の現状と課題を学ぶことができました。帰還した住民(町民)と除染/廃炉などで転入する住民(町民)がどのように協力して、新たな町づくりをしていくのか、見守っていきたいと思います。(H.S)

★ #110フォーラム開催有り難うございます。地域の復興が進んでいる状況が良くわかりました。小職も東北にお邪魔しながら、「若者や子どもたちが、学・業後帰って来て、活躍し続ける魅力的な助け合いのふるさと創り」を日本全体の取り組みに出来ないか模索中です。今後ともご指

導よろしくお願い致します新聞社各社のご協力を頂きながら、1道6県知事さんと復興連携出来たらよいと思います。(T.S)

★ 檜葉町の現状等、お話を聞かせていただきありがとうございます。「教育と農業が二本柱」とのこと、その通りだと思います。話の中で興味を持ったのは、「心の復興事業」で、この事業をすすめていただきたいと思います。歴史の史料の保全も心の復興につながります。(Y.I)

★ 大変勉強になりました。ありがとうございます。(M.S)

★ 檜葉の状況がよくわかり、大変勉強になりました。町民のみなさんが将来どのぐらいもどってくるのかの見通しなど、色々と困難な課題が多いと思います。農業と教育を重点としたとりくみなどうなずけることもあります。現場では苦労がともなうかと思いますが、がんばっていただきたいと思います。自分のできることもしっかり考えていきたいです。(Y.A)

★ 檜葉の状況が良く分かりました。早く帰還が進むと良いですね。(H.T)

★ まさに、今の檜葉町の状況が分かりました。戻られる方、新たに住まわれる方々とのコミュニティ作り、課題多く大変かと思いますが、様々な地域で役立つ知見かと思えます。(F.N)

★ 松本町長の丁寧なご説明、ひとつひとつの質問に真摯に答える姿勢が本当に素晴らしく感銘を受けました。県内外で暮らす檜葉町民の方が、少しでも心安らかに。すこやかに、笑顔で生活していけるよう、自分にできることをこれからも続けていきます。(M.M)

★ “今”の檜葉町の状態を知ることができた。ネット上の情報もどれが最新で、正しいものなのかがわからないので、直接聞けることは貴重だった。ありがとうございます。(K.S)

★ 町長さんとして大変ご苦勞されていることが分かりました。住居について、町はいろいろ工夫されているようですが、国からの支援は全くなくなるのか、どうかと思いました。又、町独自で引越し費用補助を5000万円出したということでしたが、今後、町としての財源はどうなるのだろうかと気になりました。(M.S)

★ このように開かれた場で、誰もが生の正確な情報を得られる機会があることは、大変重要だと思いました。震災以降110回、継続されていること、本当にすばらしいと思います。変化の激しい情報を随時学びにまた参加させて頂きたいです。(Y.T)

~~~~~

◆◆◆◆【会場個人カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第110回ふくしま復興支援フォーラム(4月25日)の会場で、カンパ4000円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。(今野)

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【会計報告】(2017.4.25現在)

「収入」

|                    |         |                     |         |
|--------------------|---------|---------------------|---------|
| 2017.4.19まで累計      | 45,056円 | (第2期(2016.10.27～)繰越 | 7,106円) |
| 会場個人カンパ(2017.4.25) | 4,000円  |                     |         |
| 計                  | 49,056円 |                     |         |

「支出」

|                      |         |
|----------------------|---------|
| 2017.4.6(会場費111まで)累計 | 30,920円 |
| 計                    | 30,920円 |

「残金(現在高)」2017.4.25 18,136円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【予告】

## 第112回「ふくしま復興支援フォーラム」

日時 2017年6月16日(金) 18時30分～20時30分

テーマ 「花見山を守る活動と避難者支援」

報告者 高橋 真一 氏 (NPO花見山を守る会代表)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」  
大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)